



天理本通り商店街の活性化



テーマの設定理由は

- ・コロナで、人通りが少なくなり、空き店舗が増え、コロナ前の商店街のように、にぎやかな本通りに戻したいと思ったから。
- ・SDGs11番の「住み続けられるまちづくりを」の誰も取り残さないまちづくりをすることにもつながると思ったから。

11 住み続けられる
まちづくりを



仮説①

天理本通り商店街の歴史ある建物やレトロな雰囲気のお店を活かした企画を実施すれば活性化につながるのでは



検証計画

- ・ 商店街の関係者、利用者、来街者を対象に天理本通り商店街の魅力についてのインタビュー調査を行う



仮説①について

インタビュー調査

Q1, 天理本通り商店街の魅力や強み

Q2, 活性化のために必要なことはなんですか。



天理市本通り商店街協同組合 理事長 酒谷さんのインタビューの結果

- ・ 歴史が古く、静かであることが魅力。日本らしさを味わうために足を運ぶ人もいる。チェーン店が少なく、古いお店が多いのが強み。
- ・ 活性化のためには、新しいアイデアを取り入れることが大切。他がやっているイベント以外のことをする。魅力を掘り下げる。競争は難しい。



キャラメルマーケットの店員さんのインタビュー結果

- ・屋根があること、通りを抜けた先にも見てもらうものがあることが魅力。
- ・活性化のためには、広い世代が集えるイベントをする、天理商店街を知ってもらうことが大切。学生が寄れるお店、町の憩いの場をつくるため開業。
- ・どうしても年配の方が多く、昔より人も減っている。何が足りないのかわからない、商売側が商店街の魅力を感じなくなっているのが課題。



インタビューしてわかったこと(まとめ)

- ・天理本通り商店街は他の商店街とは違い、宗教の町を根底とした清らかな道で祈りの場であることが魅力。
- ・流行りのお店がなく、古いお店が多いのが逆に日本らしさを感じられて良い。しかし、新しいアイデアを取り入れていくことも大切。
- ・事務と実際に働いている人で意見が重なっているところも違うところもある。



仮説① 天理本通り商店街の歴史ある建物やレトロな雰囲気のお店を活かした企画を実施すれば活性化につながるのでは



昔ながらの雰囲気を残しつつ、

広い世代の方に来てもらえるイベントを実施する。

天理本通り商店街の魅力をSNSなどで発信し、たくさんの方に知ってもらえるようにする。



仮説②

子育て世代や若者を対象としたイベントに、高校生と一緒にチャレンジする企画を実施すれば活性化につながるのでは



仮説②について

インタビュー調査

Q1, 学生や地域の方とコラボしたことはありますか。

Q2, 空き店舗をイベント会場に使うのは可能ですか。



酒谷さんへのインタビュー結果

- ・天理大学、地元のアーティスト、企業などとコラボしたことがある。コラボすることで、新しいものの見方、価値観を得られる。
- ・空き店舗をイベント会場に使うのは可能だが、手続きや工事などが必要。すぐには使えない。



店員さんへのインタビュー結果

- ・過去に大学、高校、幼稚園、4店舗の企業とコラボした。コラボすることで新しいアイデアが得られる。人通りも多くなる。



キャラメルマーケットさんを建てた理由は

天理大学に頼まれ、学生が寄れるお店をつくることを決める。町の憩いの場をつくりたかったから。



インタビューしてわかったこと(まとめ)

- ・学生や企業などとコラボしたこともあるが、活性化するのは一時的で、持続的に活性化させることが必要。
- ・空き店舗をイベント会場に使うのは可能だが、開けてすぐに使えるお店は少ない。



仮説② 子育て世代や若者を対象としたイベントに、
高校生と一緒にチャレンジする企画を実施すれば活性化
につながるのでは



空き店舗をイベント会場にすることは、現段階では厳しい。

高校生や大学生とコラボすることで、人通りが増え活性化につながる。しかし、活性化するのは一時的で、持続的に活性化させることが必要。